

## スクリーニングの効果

### 取り組みの効果

\*以下の表・円グラフの項目はある学校の1例です。

遅刻・早退が好転したケース



保健室来室が好転したケース



諸費滞納が好転したケース



友人関係が好転したケース



※SSW：スクールソーシャルワーカー SC：スクールカウンセラー

(実施自治体より)

### 実施教員の声

- 学年団で1人ずつ見つめ直して、「そういえばこの子そうやったね」と話し合え、1人ひとりがよくみえるようになった。
- スクリーニングシートの項目が1つの指標になり、子供のどんな様子に着目すべきなのか、若手教員にとってもわかりやすくなった。
- 教師の家庭や子供理解が進み、子供が通いやすい学校環境につながった。
- あまり気にかけてなかった子のしんどさも見え「隠れしんどい子」の発見につながった。
- 複数の視点が入ることで、学校での目に見える様子から、その向こうにある目に見えない家庭状況などへの配慮ができるようになってきた。
- みんなで検討してもらった些細な声かけだが、自信をもってできる。
- 役割分担が明確になって、教師が整理してSSWを活用するようになった。

虐待リスク  
いじめリスク  
貧困リスク  
発見できる！

# スクリーニング活用ガイド

～表面化しにくい児童虐待、いじめ、経済的問題の早期発見のために～

## スクリーニングとは

全ての児童生徒を対象として、問題の未然防止のために、データに基づいて、潜在的に支援の必要な児童生徒や家庭を適切な支援につなぐための迅速な識別

教師にとって

児童生徒理解が深まる

スクールカウンセラー、  
スクールソーシャルワーカーにとって

発見、重大事案の  
予防につながる

全てにとって

1人の抱え込みの防止、  
負担軽減、チーム力UP！

## スクリーニングの進め方



QR

発行：文部科学省  
協力：大阪府立大学 山野則子研究室  
eb-ssw@sw.osakafu-u.ac.jp

このシートはチェックだけでなく、チェックや議論の結果から方向性が示唆されるシートです。御活用の御相談は上記アドレスに御連絡ください。

## スクリーニング会議

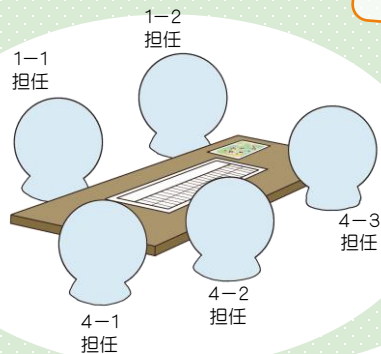
### 準備編

1. スクリーニング会議をいつ行うか決める。  
たとえば、年間学年会議等を活用する。
2. スクリーニング会議を行う日時と  
スクリーニングシート入力締切日  
(おおむね会議の1週間前)を  
全教職員に通知する。
3. 各自スクリーニングシートに入力を行う。

### 会議当日

4. 入力結果を学年全員で確認して、  
チーム会議にあげるか議論する。  
支援の方向性 (A B C) はどれか必ず決める。

☆SSWがスクリーニング会議に入る、  
陰からでもファシリテートすることで、  
流れがスムーズになる。



教員がすること、SSWがすることが  
明確になる

学期ごとに行うことで、  
変化を把握できる

**A** 教職員の関与

- ・ 学年団
- ・ 担任
- ・ 養護教諭  
等のアプローチ

**B** 地域資源の活用

- ・ 学習支援
- ・ 居場所
- ・ 子供食堂
- ・ 地域人材
- ・ 家庭教育支援  
等の活用

**C** 専門機関の活用

- ・ 児童相談所
- ・ 家庭児童相談室
- ・ 少年サポートセンター
- ・ 教育センター
- ・ 福祉制度  
等の活用

## チーム会議

スクリーニング会議で「チーム会議にあげる」  
となった児童生徒について、  
多職種を交えたチームでアセスメントを行い、  
支援の方向性を具体的に決定する。  
随時、見直しも行う。

\*チーム会議の場をケース会議として  
アセスメントを行うことも可能。

